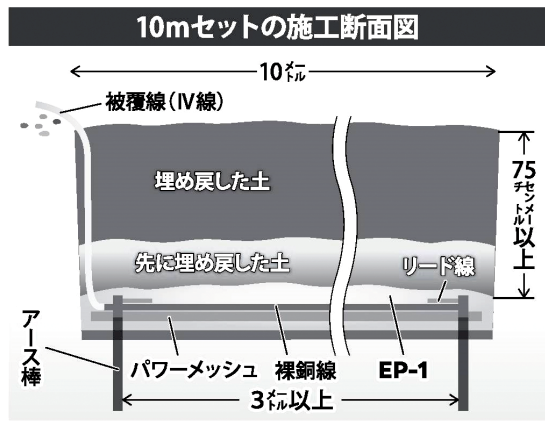


セットシリーズが新聞記事に掲載されました。

電気新聞 2023年8月21日(月曜日)

(C)電気新聞

掲載日:2023年08月21日, 面名:工事・保安, 記事ID:KIJ20230821_A1011000104000002



セットは、大地の電気抵抗を減らす低減材(導電性コンクリート「導電性コンクリート」)「ホクデンEP-1」、地中で水平に広げて使用する銅網状のパワーメッシュ、アース棒、銅線、埋設シート、結束バンドなどで構成。これまでの22・5mm幅ハワ

ーメッシュ5層の「5mセット」、同10層の「10mセット」に加え、同10層を5巻まとめた「50mセット」を発売した。住宅での施工を想定し、10mm幅ハワ

ーメッシュ2層の「コンパクトアースセット」もそろえた。各セットは、再生可

エネルギー電源の連系や小規模変電所、携帯基地局などの限られた敷地での接地を想定し、必要量を組み合わせて使用する。掘削孔の底面にアース棒を打設してパワーメッシュ

をつなぎ、銅線を接続。EP-1を敷き詰めて穴を埋め戻す。広い用地を確保できなくても、抵抗値を低減すること

接地関連メーカーのホクデン(富山県立山町、戸栗和広社長)は、電気設備の安全対策として行う接地工事に必要な資材一式をそろえたセット商品を拡充している。接地工事の用途や規模に応じて「带状接地50mセット」「コンパクトアースセット」「コンパクトアースセットハイブリッド」などのシリーズ商品を増やし、工事会社などの顧客ニーズに細かく対応する。

をつなぎ、銅線を接続。EP-1を敷き詰めて穴を埋め戻す。広い用地を確保できなくても、抵抗値を低減すること

を。山間地の鉄塔工事では、運搬時の利便性や個別調達の削減といった効果で送配電会社からの引き合いが増えている。電材店も工

事会社へセット販売を勧めているという。同社は接地関連製品のほか、用地の抵抗率調査や接地の設計などのツールサポートを強化したい考え。接地抵抗マップの高精度化や接地計算機などを

接地工事用材 セット商品を拡充 顧客ニーズに対応

たせるのが特長だ。同社はEP-1やパワーメッシュなどの製品を個別に販売しているが、限られた用地で接地工事を行う現場のニーズに合わせてセットシリーズを拡充している。

同社は接地関連製品のほか、用地の抵抗率調査や接地の設計などのツールサポートを強化したい考え。接地抵抗マップの高精度化や接地計算機などを

「どんな方面からでも相談を受けられるようにしたい」(戸栗社長)。今後の売り上げは年1割増を目指す。